

께서

～が（敬意を払う主語）

이/가 の敬語形です。日本語には対応する助詞がなく、敬語を動詞だけで表す日本語との大きな違いになります。

■ つけ方

状況	形	例
敬意を払う主語	께서	선생님께서
述語も敬語に	-(으)시-	오셨어요
～は（敬語）	께서는	아버지께서는
～も（敬語）	께서도	어머니께서도
～に（敬語）	께	선생님께 드렸어요
自分側には使わない	이/가	제가 했어요 (제께서 ×)

■ 日本語との違い

敬意を払う相手が主語のとき、이/가 の代わりに使います。선생님께서 오셨어요（先生がいらっしゃいました）。

日本語には助詞の敬語がありません。「先生が」の「が」は変わらず、敬意は「いらっしゃる」という動詞だけで表します。韓国語は助詞と動詞の両方で示すため、께서 を使ったら述語も -(으)시- にするのが原則です。

自分や身内には使いません。제가 했어요（わたしがしました）。ここで 께서 を使うことはありません。日本語の謙譲と同じ感覚です。

ただし韓国語は身内にも敬語を使う点が日本語と違います。他人に対して自分の父の話をするときも 아버지께서 と言えます。日本語なら「父が」と言うところです。

■ 例文

- 1 선생님께서 말씀하셨습니다.
先生がおっしゃいました。
- 2 할머니께서 편찮으세요.
おばあさんが具合が悪いです。
- 3 부모님께서 오셨어요.
両親が来られました。
- 4 사장님께서 지금 안 계세요.
社長は今いらっしゃいません。
- 5 아버지께서도 같이 가세요.
父も一緒に行かれます。
- 6 교수님께서 추천해 주셨어요.
教授が推薦してくださいました。

■ 紛らわしいもの

이/가
敬意が要らない相手には 이/가 を使います。自分や友人には 께서 を使いません。
친구가 왔어요. / 선생님께서 오셨어요.

께
에게 の敬語形で「に」に当たります。께서 は「が」なので働きが違います。
선생님께서 주셨어요. (先生が) / 선생님께 드렸어요. (先生に)

-(으)시-
述語につく敬語です。께서 と組んで使うのが原則で、片方だけだと不自然になります。
선생님께서 오셨어요. (両方)

■ まちがえやすい点

- × 제께서 하겠습니다.
○ 제가 하겠습니다.
自分には敬語を使いません。이/가 のままです。
- × 선생님께서 왔어요.
○ 선생님께서 오셨어요.
께서 を使ったら述語も -(으)시- にします。片方だけだと不自然です。
- × 선생님께서 줬어요.
○ 선생님께서 주셨어요.
주다 の敬語形は 주시다 です。